

ふれあい通信

Vol19 編集:高台病院 CS 委員会 発行:2025 年 4 月

認知症ケア・身体拘束最小化チームのご紹介

認知症ケア・身体拘束最小化チームは、病院内の多職種が協力・連携し、認知症やせん妄症状のある方、高齢の方が安心して入院生活や治療を受けられるよう支援・調整することを目的に活動しています。

医療の現場では、身体拘束を「してはいけない」という原則が理解されている一方で、患者様の安全確保のため、やむを得ず実施せざるを得ない状況が生じることがあります。

身体拘束を最小化するために

- ・ 身体拘束の三原則[切迫性][非代替性][一時性]の適正な評価。
- ・ 身体拘束の必要性や代替案を慎重に検討するための毎日カンファレンスの実施。
- ・ 院内研修を通じた、全スタッフの認知症ケアおよび身体拘束に関する知識の向上。





認知症ケア・身体拘束最小化チームは、

患者様の尊厳と主体性を尊重し、身体拘束を安易に正当化しないこと、職員一人ひとりが身体拘束による身体的・精神的な弊害を理解し、拘束廃止への意識を持ちながら身体拘束ゼロを目指して活動を行っています。



オカリナ演奏会のお知らせ

4月22日（火） 15時～30分

1F 談話室にて

前回、
クリスマスソングを
演奏していただき
患者様に喜んでいただきました。
ご家族様もぜひお立ち寄りください。



高台病院の桜も満開となりました。

